

目的：前回報告と同様であるが本報告は第一報(オ26回総合)の結果を基にして若干の緑色野菜を加えて地域別の嗜好関係を明らかにする。方法：調査地域は北海道、東京都、大阪府、島根県、山口県および宮崎県、の6地域。調査対象は前回同様に4グループに分け各地域共480名計2880名。期間は昭和51年4月8日～52年11月6日まで。結果：地域およびグループ別にみて緑色野菜を使った調理法の嗜好状況と可食者%は下表に示す通り(1%以下の危険率で有意)。なお全地域で可食

緑色野菜を使った調理法の嗜好段階と可食者% (地域および性年令別)

嗜好段階	非常に好き	好き	好きでも嫌い	嫌い	非常に嫌い	可食者
地域別						
北海道	ちし類 25	ちし類 44	ほうれ草 煮物 49	春菊 30	春菊 17	79.03
東京都	" 28	" 44	ほうれ草 炒め物 52	パセリ 汁物 24	パセリ あえ物 11	78.40
大阪府	" 29	ほうれ草 炒め物 44	ほうれ草 井物 51	" 24	" 汁物 12	75.43
島根県	" 21	ほうれ草 つけ物 48	ほうれ草 煮物 53	" あえ物 21	くら 煮物 7	70.11
山口県	" 25	ねぎ類 汁物 46	" 35	" 24	" 大物 10	70.40
宮崎県	" 30	大根菜 つけ物 49	ほうれ草 煮物 52	" 汁物 20	春菊 8	83.50
全地域	ちし類 26	大根菜 つけ物 42	ほうれ草 煮物 45	パセリ 汁物 23	パセリ 汁物 9	74.60
性年令別						
男若年	ちし類 27	ちし類 40	小根菜 煮物 52	パセリ 汁物 27	パセリ 汁物 12	72.48
男高年	ほうれ草 つけ物 28	大根菜 つけ物 47	ほうれ草 煮物 39	" 18	" 6	75.21
女若年	ちし類 38	ほうれ草 炒め物 43	ほうれ草 煮物 52	春菊 29	" 16	73.09
女高年	" 22	ちし類 50	パセリ 汁物 43	パセリ 汁物 19	くら 煮物 5	76.68

者の多い調理法は大根菜の漬物(88.1%)であった。嗜好平均値の高い地域とグループは山口県34%男高年35%であり全地域は33%標準偏差0.24であった嗜好値の高い調理法は宮崎県での大根菜にかなの漬物(4.01)、女若年でのちし類のなま物を使ったパン類とのとり合せであった(3.94)。